

# 災害に備えたまちづくり プロジェクト

～ 被災者が抱える課題とその支援方法の提言 ～

石川県立田鶴浜高等学校 3年

健康福祉科 三野 赴愛  
衛生看護科 中田 愛悠

# 田鶴浜高校（避難所）

## 超高齢化地域「能登」での震災

健康不安

看護・福祉の専門職連携で  
「次の一步に向けて」  
できることがある！

コミュニティー  
の崩壊



## 地域の医療・福祉を担う看護・福祉の実践力向上





## 「健康生活への支援」についての提案

衣

食

住

情報

# 「健康生活への支援」についての提案

衣

①保温（防寒）

②清潔（口腔ケア・整容等）

情報

③情報活用  
(物資調達)

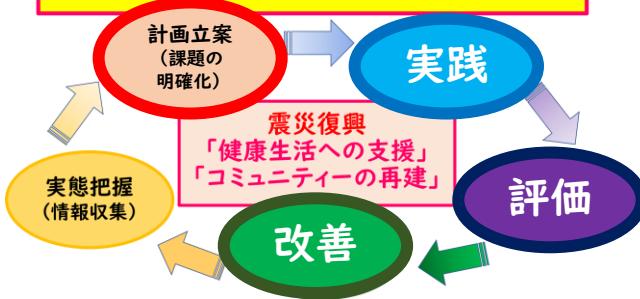
食

④防災食と栄養管理

⑧災害関連死を防ぐ  
(孤独死、エコノミークラス  
症候群、持病の悪化等)

住

⑤住居管理（睡眠、ベッド）  
⑥排泄（トイレの工夫）  
⑦災害時の日用品（履物・食器等）



# 震災復興・備え

## ①「健康生活への支援」

# 「保温（防寒）」

衣

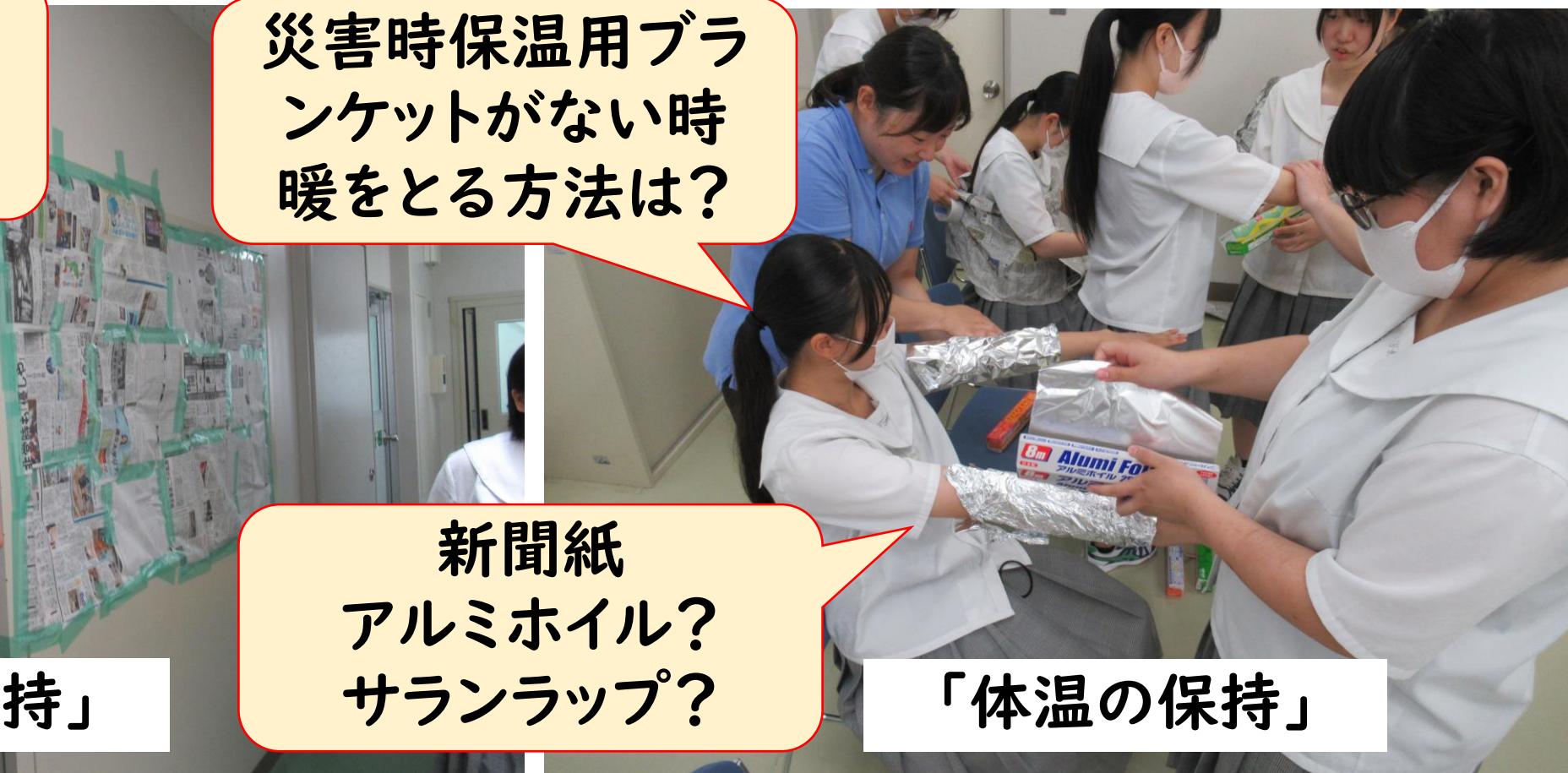
◎日常にあるもので、低体温を防ぐ方法は？

窓の隙間の目張り  
の暖房効果は？



「室温の保持」

災害時保温用ブラ  
ンケットがない時  
暖をとる方法は？



新聞紙  
アルミホイル?  
サランラップ?

「体温の保持」

# 実験してみたよ!!

## 「保温(防寒)」

衣

①寒い中で何を使ったら一番温まるのか



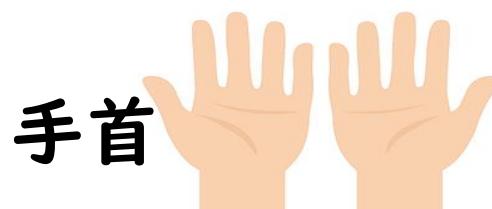
②身体のどこを温めたら一番体温が上がるのか



首



足首



手首

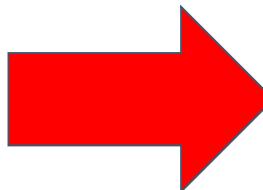
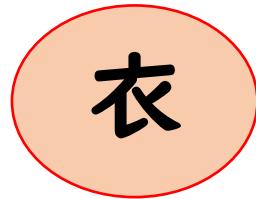


お腹

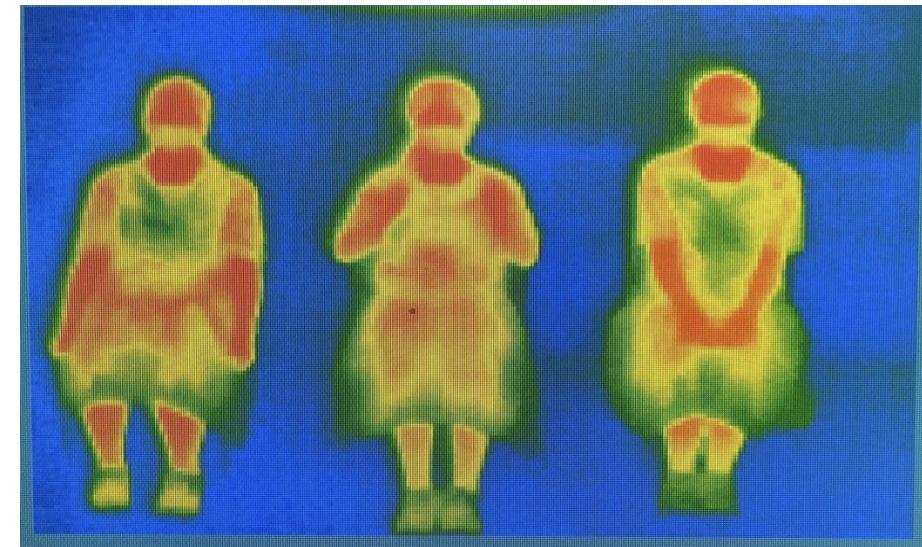
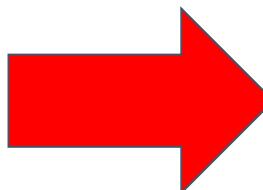
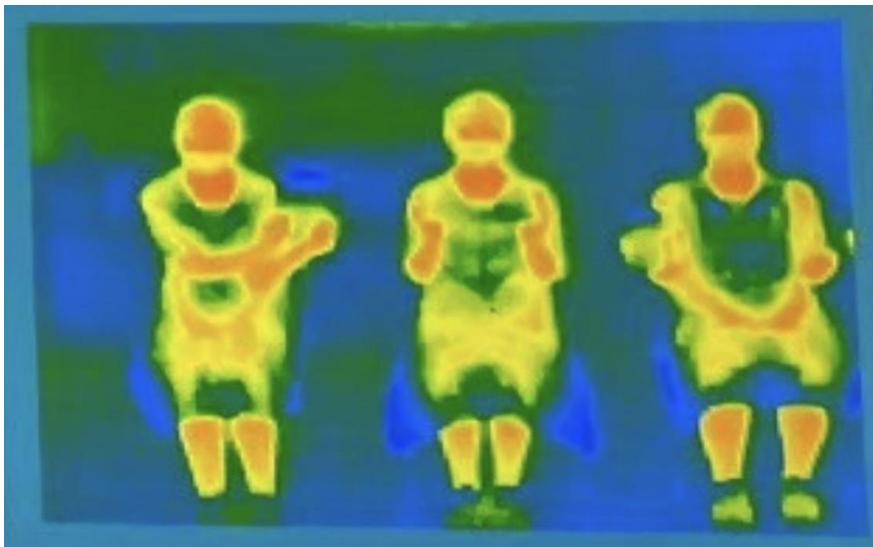
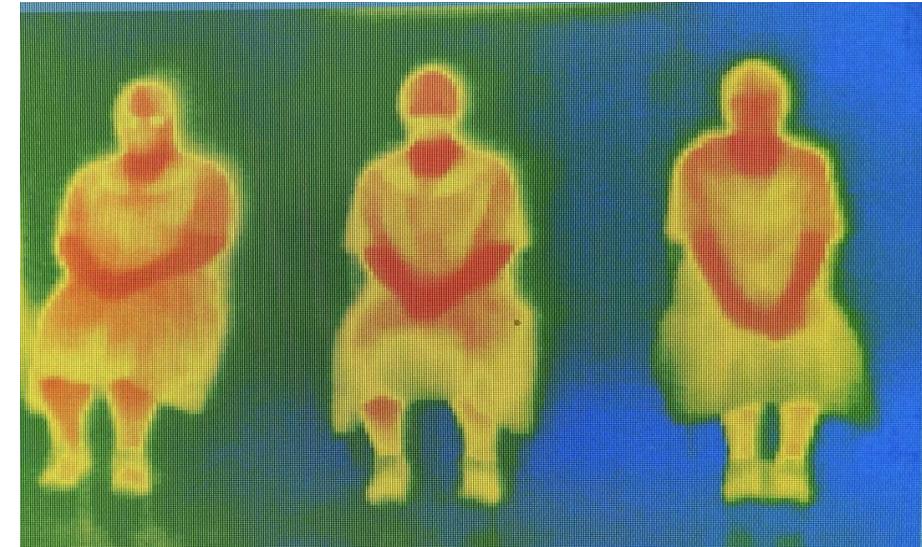
実験前



「保温(防寒)」



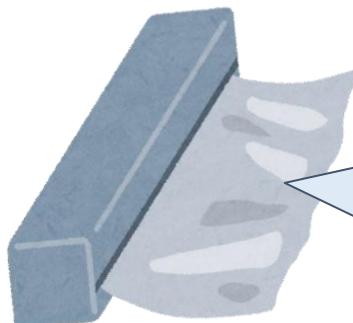
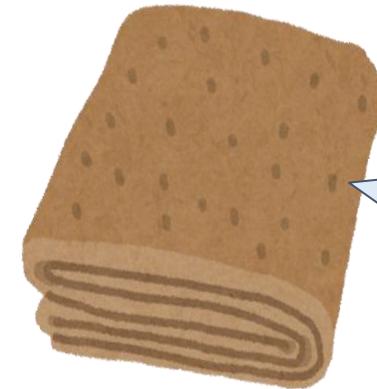
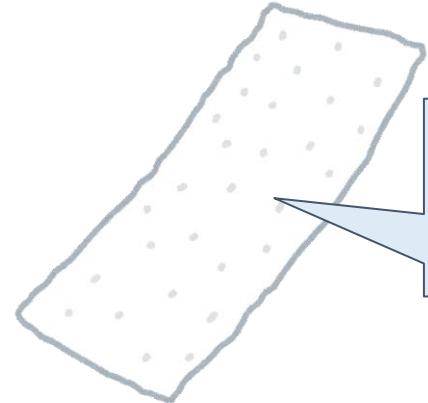
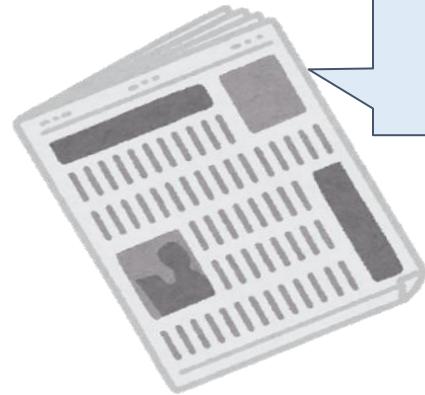
実験後



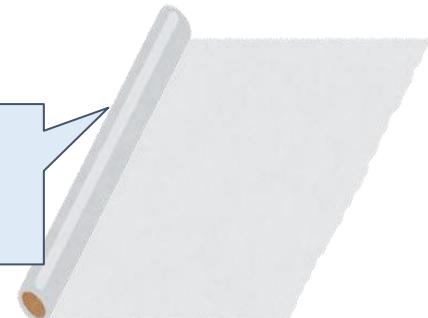
「保温(防寒)」

【仮説】 身体を一番温めやすい物の順番は?

衣



ラップ



ジャンパー

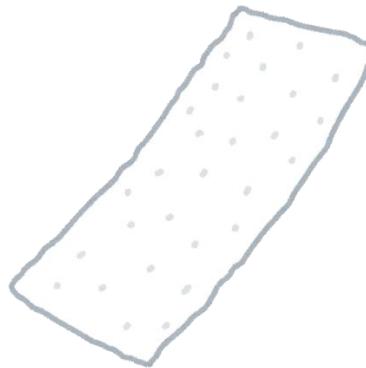
# 【仮説】

「保温(防寒)」

衣



毛布



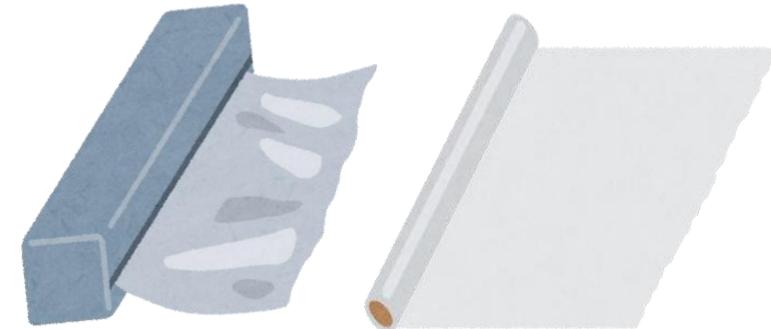
タオルケット



新聞紙



ジャンパー



アルミホイル

ラップ

温まりやすい

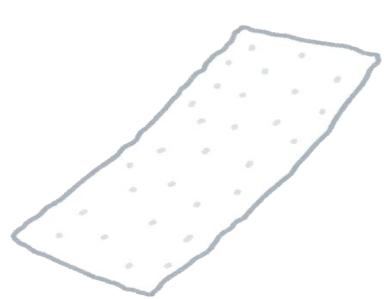
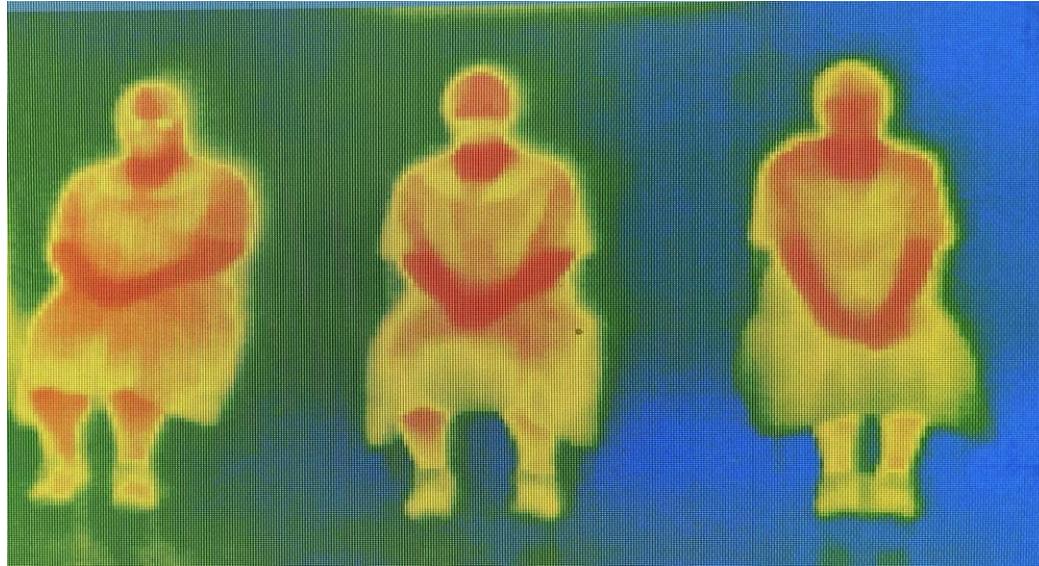


温まりにくい

# 【結果】

「保温(防寒)」

衣



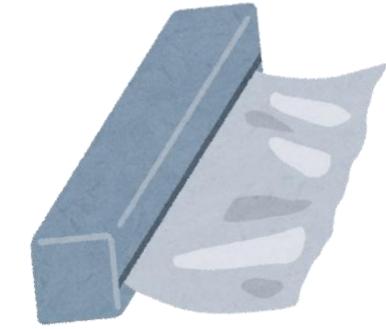
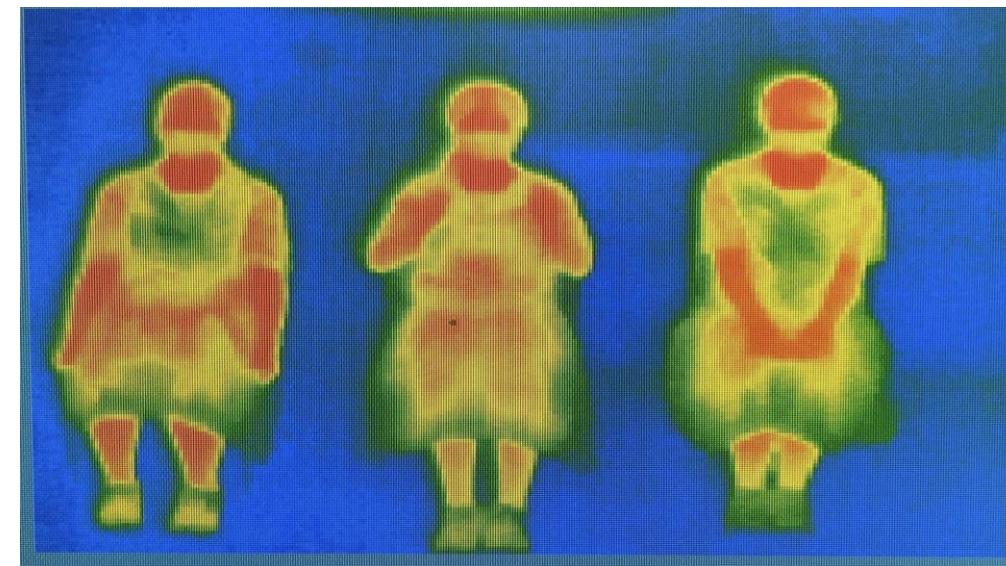
タオルケット



毛布



ジャンパー



アルミホイル



ラップ



新聞紙

温まりやすい



温まりにくい

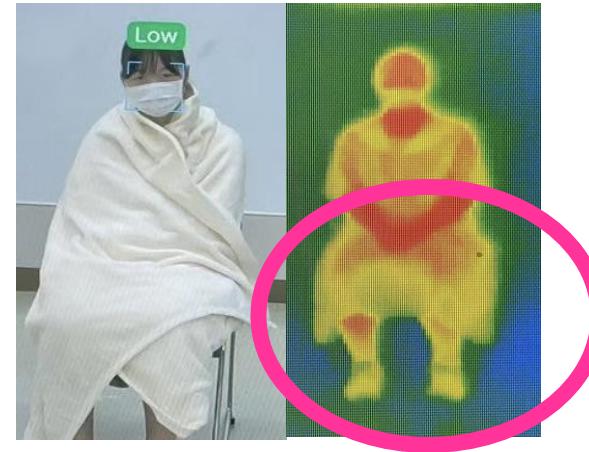
# 【考察】

「保温(防寒)」

衣

1位:タオルケット

2位:毛布



→保温効果が高い、汗や湿気の吸収

→様々な体型の人に合わせることができる

＋通気性が少なく、広範囲を密着包む

3位:ジャンパー

→保温効果が高い、身体にフィット

＋温められる範囲が少ない



# 「健康生活への支援」についての提案

衣

①保温（防寒）

②清潔（口腔ケア・整容等）

情報

③情報活用  
(物資調達)

食

④防災食と栄養管理

⑧災害関連死を防ぐ  
(孤独死、エコノミークラス  
症候群、持病の悪化等)

住

⑤住居管理（睡眠、ベッド）  
⑥排泄（トイレの工夫）  
⑦災害時の日用品（履物・食器等）



地域の医療・福祉を担う看護・福祉の実践力向上



# 震災復興・備え

## ②「コミュニティーの再建」



地域の方々の  
つながりを紡ぐ支援



実態把握  
(情報収集)

# 「能登の自然・くらしと能登半島地震」

金沢大学 人間社会研究域地域創造学系 准教授 青木 賢人

能登は、高齢者  
の支え合いすら  
壊された。



能登は、今、  
「くらしを支える支援」  
が必要！



# 災害ボランティア

被災者は、  
避難生活で疲弊

実態把握  
(情報収集)

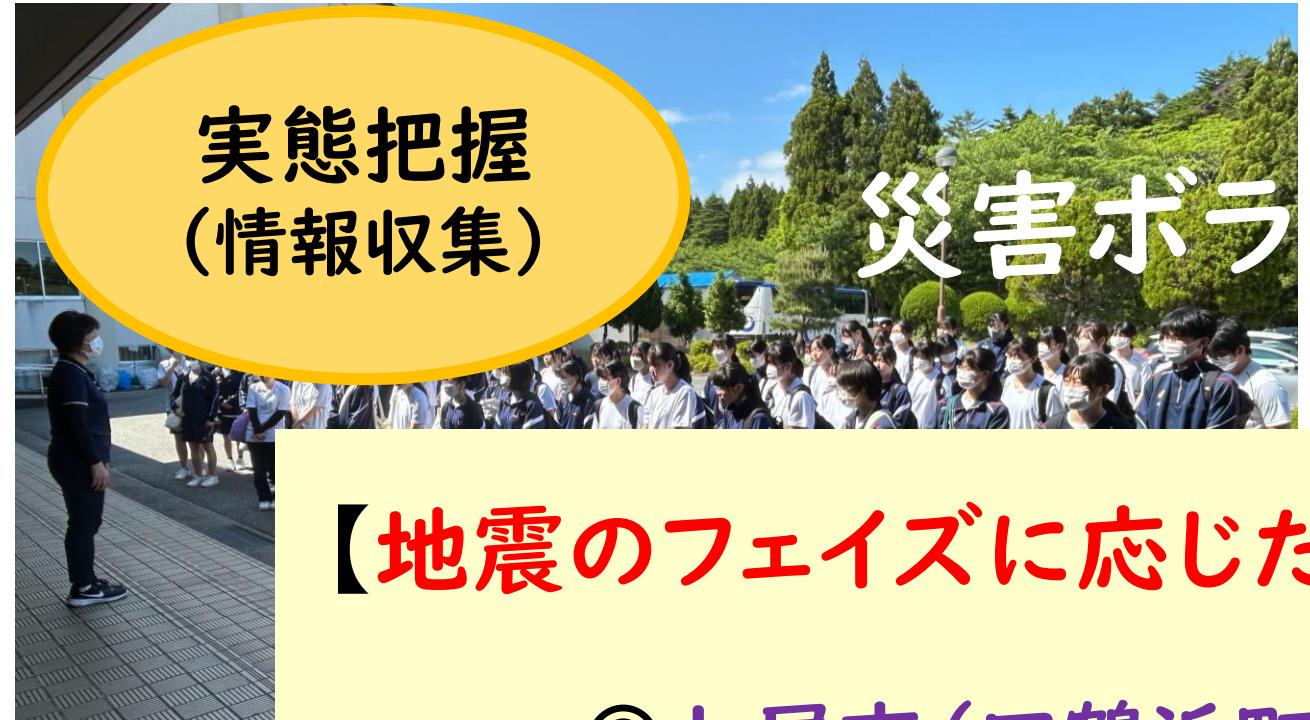
他者と交流する  
心の余裕もない

今は、ゆっくり休ませて  
あげる時期

地震のフェイズを理解しない行為は、  
ボランティアの押し売りになる

実態把握  
(情報収集)

災害ボランティア



## 【地震のフェイズに応じたボランティアの実施】

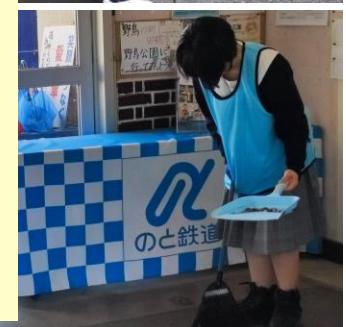
### ◎七尾市(田鶴浜町周辺)

- ・清掃(道路・田鶴浜駅周辺)
- ・田鶴浜高校 避難所



### ◎奥能登(輪島市、珠洲市、能登町)

- ・仮設住宅への引っ越し
- ・介護施設(環境整備、ケア)



実態把握  
(情報収集)



# 奥能登(輪島市) ～仮設住宅への引っ越しボランティア～



実態把握  
(情報収集)

奥能登(輪島市)

～介護老人福祉施設(環境整備等)～



地域の医療・福祉を担う看護・福祉の実践力向上



# コミュニティの再建（つながる）

## ～「憩いの場」づくり～ 田鶴浜高校



ハンドケア



健康チェック

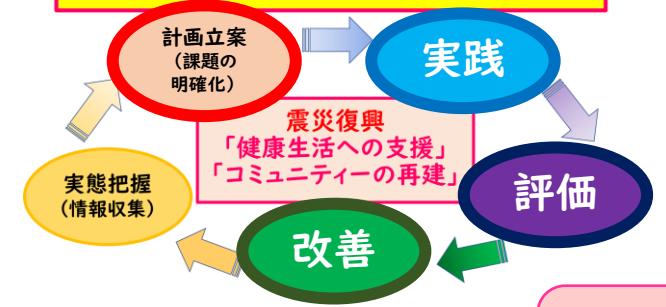


モルック



臨床美術

地域の医療・福祉を担う看護・福祉の実践力向上

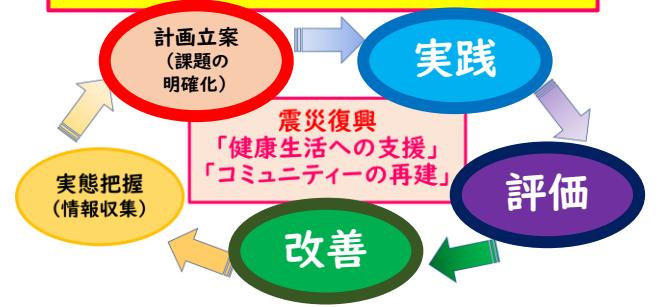


# コミュニティの再建（つながる）

## ～「憩いの場」づくり～ 輪島市鶴巣地区



地域の医療・福祉を担う看護・福祉の実践力向上



# コミュニティの再建（つながる）

## ～「憩いの場」づくり～ 能登町まつなみ地区



地域の医療・福祉を担う看護・福祉の実践力向上

計画立案  
(課題の  
明確化)

実践

実態把握  
(情報収集)

評価

震災復興  
「健康生活への支援」  
「コミュニティーの再建」

改善

授業参観日

地震のフェイズと  
地域のニーズを理解



午前 10時～11時  
午後 1時半～3時  
22日(木)  
午前 9時半～11時  
午後 2時～3時半

つながりの継続





## 【成果と課題】

- ①「押し売り」の支援にしないための地域の現状とニーズを的確に把握する情報収集力と分析力の必要性を学んだ。
- ②他職種と協働することで、次世代を担う専門職としての自覚と主体的に解決に向けて粘り強く取り組む姿勢が身に付いた。
- ③8つの生活課題の提案の試行錯誤を通して、探究する楽しさとともに探究的思考が身に付いた。



# 災害に備えたまちづくりプロジェクト

～被災者が抱える課題とその支援方法の提言～

石川県立田鶴浜高等学校 3年

健康福祉科 三野 赴愛  
衛生看護科 中田 愛悠